



【GDDP+DTX+S-1療法について】
(シスプラチン+ドセタキセル+S-1)



様



コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
S-1	抗がん剤です	朝・夕 内服																					
イメドカプセル	吐き気止めです	1日1回																					
アロキシ注 デキサート注	吐き気止めです	15分																					
デカドロン錠	吐き気止めです	朝 内服																					
ドセタキセル注	抗がん剤です	60分																					
シスプラチン注	抗がん剤です	2時間																					

この週はお休みです。

腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。

1日目

😊 **治療による副作用**

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
自覚症状																						
食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
皮疹	皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る時はお知らせ下さい。																					
口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																					
色素沈着	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																					
手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																					
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配すぎないでください。																					
検査値																						
白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
腎機能低下	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																					
肝機能低下	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																					

:注意が必要な時期

1日目



* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
 * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
 * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
 * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。